

第13回下関市景観賞概要

1 趣旨

下関市の良好な景観の形成に向けて、「下関市景観条例」に基づき、市民の皆さんの景観まちづくりに対する関心の醸成や活動者、所有者、設計者等のさらなる景観意識高揚を図るため、「下関市景観賞」を実施。

2 募集内容

- (1) 景観フォトコンテスト部門
下関市内の「私が残したい素晴らしい景観」をテーマとした写真が対象。
- (2) 景観デザイン部門
下関市内にある、良好な景観を形成している建築物・工作物等が対象。
- (3) 景観まちづくり活動部門
下関市内で行われている、良好な景観を形成するための活動が対象。

3 募集方法及び応募件数

- (1) 募集期間 令和4年(2022年)6月1日(水)～8月1日(月)(62日間)
- (2) 募集広報 市長定例記者会見、報道発表、市ホームページ、市報6月号、フェイスブック、インスタグラム等
- (3) 応募件数 168件

4 選考

- (1) 選考者 下関市景観審議会デザイン委員会委員6人(…以下「選定委員」)
- (2) 選考対象 127件(応募件数のうち、募集要件を満たさない41件を除外。)
※応募要件不適合の主な理由：応募要件「1人3点まで」(景観フォトコンテスト部門)を満たさなかったため。
- (3) 選考方法
 - ① 書面審査(8月10日(水)～8月31日(水))
選考対象について選定委員による書面審査を実施。
各部門で得票数の多かったものを最終審査対象として選定。
(最終審査対象：景観フォトコンテスト部門9件、景観デザイン部門3件、景観まちづくり活動部門2件)
 - ② 現地審査(10月11日(火)10:00～15:40)
最終審査対象のうち、5件について、選定委員(6人中4人)が現地審査。
※景観フォトコンテスト部門は、写真で審査するため、現地審査対象外。
 - ③ 最終審査(10月11日(火)15:40～16:30)
現地審査・資料を踏まえ、選定委員(6人中4人)により、表彰案件を選定。

5 表彰案件

【景観フォトコンテスト部門】

- 景観賞「神秘的な水没林」
(撮影スポット：一の俣桜公園)
(受賞者：平川 敬一)
- 優秀賞2件
 - ・「秋の古江小路」
(撮影スポット：長府 古江小路)
(受賞者：柏野 祐二)
 - ・「秋の太翔館」
(撮影スポット：太翔館前)
(受賞者：中山 淳)
- 入選5件
 - ・「星振る水天門」
(撮影スポット：赤間神宮前)
(受賞者：福本 高俊)
 - ・「瑞風」の旅、七曲り海岸を後にして」
(撮影スポット：吉見七曲り海岸)
(受賞者：山川 孝一)
 - ・「角島大橋」
(撮影スポット：角島大橋前)
(受賞者：中山 淳)
 - ・「レトロの夜」
(撮影スポット：南部町)
(受賞者：村上 歩夢)
 - ・「春の便り」
(撮影スポット：火の山公園)
(受賞者：田中 徹)

【景観デザイン部門】

- 特別賞「Bakery&Cafe POLANO (ポーラノ)」
(所在地：大学町一丁目4番7号)
(受賞者：Bakery&Cafe POLANO、有限会社玉井工務店)

【景観まちづくり活動部門】

- 景観賞「みんなの力で美しいふる里」プロジェクト」
(活動場所：王司山田地区(入野川沿い))
(受賞者：王司の環境を守る会)

6 表彰式

- (1) 日時 令和4年11月18日(金)11:00～
- (2) 場所 下関市役所本庁舎 東棟5階 市長応接室
- (3) 出席者 受賞者4人、下関市景観審議会デザイン委員会会長、前田市長、景観賞事務局(都市整備部都市計画課)

景観フォトコンテスト部門

【景観賞】

「神秘的な水没林」

撮影スポット：一の俣桜公園
受賞者：平川 敬一

【応募者コメント】

豊田町にある一の俣桜公園の水没林は、湖水からの沢山の木立が神秘的な雰囲気の中で水面近くを沢山の鯉が泳いでいて、訪れる人たちを癒やしてくれます。四季折々に楽しめる山間の隠れたスポットです。

【講評】

風がやみ、鏡のようになった水面に、枯れた水没林が映り込む光景は、神秘的で美しく、鮮やかな色の鯉が、この風景美に彩りと親しみを添えています。



景観フォトコンテスト部門

【優秀賞】

「秋の古江小路」

撮影スポット：長府 古江小路
受賞者：柏野 祐二

【応募者コメント】

長府の古い街並みを代表する景観だと思います。

【講評】

武家屋敷を守るために築かれた石垣と土塀が、小路を構成しています。この塀の後は広葉樹が植えられ、紅葉の季節の光景は、後世に継承したい風景美です。



景観フォトコンテスト部門

【優秀賞】

「秋の太翔館」

撮影スポット：太翔館前
受賞者：中山 淳

【応募者コメント】

旧滝部小学校、いつ見ても気持ちが和らぐ。昔、校舎の中で学び、遊んだ懐かしい思い出がよみがえる。いつまでもこの姿であってほしい。

【講評】

石造の西洋建築の様式を木造に取り入れた、大正期を代表する学校建築が作りだす昔懐かしい光景は、文化的財産を活用することの豊かさを示しています。



景観フォトコンテスト部門

【入選】

「星振る水天門」

撮影スポット：赤間神宮前
受賞者：福本 高俊

【応募者コメント】

水天門上に星が降り注ぐ様でした。



「「瑞風」の旅、七曲り海岸を後にして」

撮影スポット：吉見七曲り海岸
受賞者：山川 孝一

【応募者コメント】

色づき始めた山々の合間を、ゆっくりと走る「瑞風」、そして、青い空とエメラルドグリーン的大海とが織りなす風景は、旅情を掻き立て、心惹かれてしまいます。



景観フォトコンテスト部門

【入選】

「角島大橋」

撮影スポット：角島大橋前
受賞者：中山 淳

【応募者コメント】

青い海原を一本の白い道が本土と島を結び、島の人、本土の人が夢にまで見た素晴らしい橋を誇りに思う。大切な橋。



「レトロの夜」

撮影スポット：南部町
受賞者：村上 歩夢

【応募者コメント】

昼間とは違った雰囲気のリトロな洋館たち。車のレーザーのおかげで、普段見ることのできない風景になりました。



景観フォトコンテスト部門

【入選】

「春の便り」

撮影スポット：火の山公園
受賞者：田中 徹

【応募者コメント】

行きたいなあ~!!って思ってた火の山のトルコチューリップ園に、良い時期に行ってきました。春を詰め合わせた様な景色に感動です。



景観デザイン部門

【特別賞】

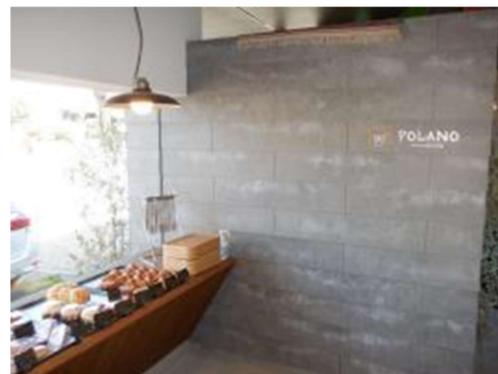
「Bakery&Cafe POLANO（ポラーノ）」

所在地：大学町一丁目4番7号
受賞者：Bakery&Cafe POLANO（所有者）
有限会社玉井工務店（設計者・施工者）

【講評】

下関市立大学からすぐ近くにある、令和元年にオープンしたパン屋になります。緑化を取り入れた外構やガラス張りの外装、前面を駐車場にし圧迫感を軽減させ底地には穏やかな色味の砂利を使用するなど、所々に景観を意識した設計が伺えます。

今回の特別賞受賞により、周辺の景観に良い影響を与え、良好なまちなみ景観形成に繋がることを期待しての特別賞となりました。



景観まちづくり活動部門

【景観賞】

「みんなの力で美しいふる里」プロジェクト」

活動場所：王司山田地区（入野川沿い）
受賞者：王司の環境を守る会

【講評】

王司の中心市街地から少し離れた、山田地区にある石井池の麓から、160本の桜の木が約800mにも及ぶ桜並木を形成しています。

平成19年から、王司の環境を守る会による定期的な草刈りや剪定作業により、春には壮大な桜の景観を望むことができます。

地域住民による、自らの地域の美しい景観を保全する活動が評価されました。

